

平成28年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年5月13日

上場会社名 株式会社 アルファクス・フード・システム

上場取引所 東

コード番号 3814 URL <http://www.afs.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 田村 隆盛

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理部長

(氏名) 高田 一信

TEL 0836-39-5151

四半期報告書提出予定日 平成28年5月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年9月期第2四半期の業績(平成27年10月1日～平成28年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年9月期第2四半期	1,050	2.5	83	507.8	60	603.6	52	—
27年9月期第2四半期	1,024	△7.1	13	△4.0	8	7.8	2	66.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年9月期第2四半期	24.11	—
27年9月期第2四半期	0.97	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
28年9月期第2四半期	1,499	—	494	—	32.9	—	226.38	—
27年9月期	1,546	—	441	—	28.5	—	202.30	—

(参考)自己資本 28年9月期第2四半期 494百万円 27年9月期 441百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年9月期	—	0.00	—	—	—
28年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年9月期の業績予想(平成27年10月1日～平成28年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,250	2.1	210	232.9	180	239.9	140	190.1	64.15

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年9月期2Q	2,513,800 株	27年9月期	2,513,800 株
28年9月期2Q	331,583 株	27年9月期	331,583 株
28年9月期2Q	2,182,217 株	27年9月期2Q	2,182,252 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく、四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策及び日銀の金融政策を背景に、輸出関連企業を中心に収益の改善がみられ、雇用状況の改善など、回復基調で推移しております。

一方、当社の主要販売先である外食企業におきましては、一部個人消費に明るさが戻るなど、回復傾向が見られるものの、食材価格の高騰、人手不足を背景とした人件費の上昇傾向及び、中食市場の拡大などにより、当社の事業領域においては、依然として厳しい状況が続いております。

このような環境のもと、当社は大手外食チェーンを中心に従来からのASPサービスを核とした、トータルソリューションシステムの提供と、前事業年度にリリースを行ったパッケージ型の基幹業務システム「飲食店経営管理システム(R)」に関して、規模を問わずあらゆる業態店舗、または中食、仕出し弁当業及び給食事業に対する販売活動に注力してまいりました。

その結果、当第2四半期累計期間は、売上高は1,050,384千円(前年同四半期比2.5%増)となりました。利益面に関しましては、営業利益83,043千円(前年同四半期比507.8%増)、経常利益60,015千円(前年同四半期比603.6%増)、四半期純利益52,616千円(前年同四半期比2,373.1%増)と大幅増益となりました。

事業部門別の業績は、以下のとおりであります。

当社は、ASPサービス事業を単一セグメントとしておりますが、ASPサービス事業を核として、顧客である飲食店舗にASPサービス事業、システム機器事業、周辺サービス事業を一体として提供しております。

① ASPサービス事業

当事業におきましては、月額サービスの新規顧客獲得及び既存顧客へのサービス拡大に注力しましたが、売上高は552,917千円(前年同四半期比13.0%増)となりました。月額サービス料が回復傾向にあり、6ヶ月累計で531,091千円(前年同四半期比10.9%増)と推移しました。

② システム機器事業

当事業におきましては、POSなどの新規受注は増加したものの、テーブルショットの需要は一段落し、売上高は423,487千円(前年同四半期比10.7%減)となりました。

③ 周辺サービス事業

当事業におきましては、サプライ品、機器修理及び他社商品の販売等を行った結果、売上高は73,979千円(前年同四半期比20.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の状況

当第2四半期会計期間末における総資産は、1,499,925千円となり、前事業年度末に比べ46,475千円減少いたしました。主な増減として、流動資産では、現金及び預金55,861千円、売掛金34,772千円の減少がありました。固定資産においては、リース資産17,174千円、ソフトウェア27,701千円の増加があった一方、貸倒引当金繰入額19,162千円を計上しております。流動負債では買掛金80,276千円、未払金13,259千円の減少がありました。固定負債では、返済により社債7,000千円、長期借入金25,200千円の減少がありました。純資産につきましては、四半期純利益の計上により52,544千円増加しております。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動、投資活動及び財務活動により、前事業年度末に比べ58,861千円減少し、当第2四半期会計期間末には240,672千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において営業活動の結果得られた資金は、57,726千円(前年同四半期は使用した資金22,048千円)となりました。これは主に、税引前四半期純利益58,220千円の計上、仕入債務79,150千円の減少及び売上債権35,371千円の減少などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において投資活動の結果使用した資金は、74,387千円(前年同四半期は使用した資金54,013千円)となりました。これは主に無形固定資産の取得による支出66,507千円による資金の減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において財務活動の結果使用した資金は、42,200千円(前年同四半期は使用した資金146,263千円)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出25,200千円、社債の償還による支出17,000千円があったことによる資金の減少によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績について、第2四半期累計期間の業績及び事業環境等を踏まえ見直しを行った結果、平成28年5月9日に公表いたしました業績予想の修正を行っております。詳細につきましては、平成28年5月9日公表の「貸倒引当金繰入額(営業外費用)の計上、および平成28年9月期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年9月30日)	当第2四半期会計期間 (平成28年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	340,034	284,172
売掛金	212,377	177,605
商品	375,428	367,936
貯蔵品	23,168	36,858
前渡金	15,120	12,504
前払費用	20,392	18,016
繰延税金資産	35,451	29,159
未収入金	4,742	13,500
その他	964	12,562
貸倒引当金	△6,403	△5,638
流動資産合計	1,021,275	946,677
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	7,660	6,970
工具、器具及び備品(純額)	57,192	46,737
土地	20,429	20,429
リース資産	—	17,174
建設仮勘定	77,380	78,460
有形固定資産合計	162,661	169,771
無形固定資産		
ソフトウェア	81,834	109,535
ソフトウェア仮勘定	57,234	62,655
電話加入権	2,445	2,445
無形固定資産合計	141,513	174,636
投資その他の資産		
出資金	139	132
長期前払費用	147,722	143,440
敷金及び保証金	19,326	19,326
繰延税金資産	22,377	33,886
長期未収入金	74,321	74,321
その他	10,308	10,325
貸倒引当金	△53,740	△72,903
投資その他の資産合計	220,455	208,529
固定資産合計	524,631	552,937
繰延資産		
社債発行費	494	310
繰延資産合計	494	310
資産合計	1,546,401	1,499,925

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年9月30日)	当第2四半期会計期間 (平成28年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	176,975	96,699
短期借入金	611,000	611,000
1年内償還予定の社債	24,000	14,000
1年内返済予定の長期借入金	50,400	50,400
リース債務	—	3,458
未払金	31,820	18,561
未払費用	9,757	9,402
未払法人税等	8,353	14,213
預り金	8,659	8,443
前受金	52,329	50,686
賞与引当金	16,251	15,443
その他	6,484	16,262
流動負債合計	996,032	908,570
固定負債		
社債	21,000	14,000
長期借入金	66,000	40,800
リース債務	—	15,405
退職給付引当金	21,903	27,140
固定負債合計	108,903	97,345
負債合計	1,104,935	1,005,915
純資産の部		
株主資本		
資本金	537,862	537,862
資本剰余金	143,599	143,599
利益剰余金	8,223	60,839
自己株式	△248,286	△248,286
株主資本合計	441,398	494,015
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	67	△5
評価・換算差額等合計	67	△5
純資産合計	441,465	494,010
負債純資産合計	1,546,401	1,499,925

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)
売上高	1,024,565	1,050,384
売上原価	675,534	683,613
売上総利益	349,031	366,771
販売費及び一般管理費	335,367	283,728
営業利益	13,663	83,043
営業外収益		
受取利息	36	15
貸倒引当金戻入額	789	764
その他	356	470
営業外収益合計	1,182	1,250
営業外費用		
支払利息	4,562	4,508
支払保証料	550	423
貸倒引当金繰入額	—	19,162
その他	1,204	183
営業外費用合計	6,316	24,277
経常利益	8,529	60,015
特別損失		
固定資産売却損	669	—
ゴルフ会員権売却損	1,450	—
訴訟関連費用	—	1,795
特別損失合計	2,119	1,795
税引前四半期純利益	6,409	58,220
法人税、住民税及び事業税	1,334	10,787
法人税等調整額	2,947	△5,183
法人税等合計	4,281	5,603
四半期純利益	2,127	52,616

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	6,409	58,220
減価償却費	39,069	39,969
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△789	18,397
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,531	△807
退職給付引当金の増減額(△は減少)	852	5,237
受取利息及び受取配当金	△36	△15
支払利息	5,112	4,931
売上債権の増減額(△は増加)	47,601	35,371
たな卸資産の増減額(△は増加)	△197,662	△6,198
仕入債務の増減額(△は減少)	107,363	△79,150
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△882	△20,272
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△22,983	9,068
固定資産売却損益(△は益)	669	—
ゴルフ会員権売却損益(△は益)	1,450	—
その他	2,192	3,926
小計	△14,163	68,678
利息及び配当金の受取額	36	15
利息の支払額	△6,185	△4,561
法人税等の支払額	△1,735	△6,406
営業活動によるキャッシュ・フロー	△22,048	57,726
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△30,000	△4,880
有形固定資産の売却による収入	3,910	—
無形固定資産の取得による支出	△26,704	△66,507
定期預金の預入による支出	△3,000	△3,000
敷金及び保証金の回収による収入	290	—
ゴルフ会員権の売却による収入	1,600	—
その他	△109	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△54,013	△74,387
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,203,200	1,060,000
短期借入金の返済による支出	△1,447,700	△1,060,000
長期借入れによる収入	150,000	—
長期借入金の返済による支出	△8,400	△25,200
社債の償還による支出	△37,000	△17,000
その他	△6,363	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△146,263	△42,200
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△222,325	△58,861
現金及び現金同等物の期首残高	452,868	299,534
現金及び現金同等物の四半期末残高	230,543	240,672

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、ASPサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。